

成人期に施行された大動脈縮窄症に対する外科的治療の後ろ向き研究

1. 研究の対象

2010年4月1日から2023年3月31日までに当院心臓血管外科にて先天性大動脈疾患に対して手術治療を受けられた16歳以上の患者様全員。症例数8例。

2. 研究期間

研究実施許可後から2025年3月31日まで

3. 研究目的・方法

先天性大動脈疾患は小児期に手術介入がなされることが多いが、術後遠隔期になり再度手術介入が必要となることもあります。またしばしば小児期に診断されず成人期において診断され、手術介入が必要となる症例も存在します。成人期において先天性大動脈疾患に対して手術介入される際の問題点としては、小児期に手術介入されている場合は前回手術における癒着などがあり、また初回手術であったとしても大動脈壁の性状などから通常成人に対して行われるような定型手術が困難であることも多いです。

どのような病態に対して、どのような介入を行うのが望ましいかについては未だ統一された見解がなく検討の余地が残っています。それを明らかにするために当院の臨床成績を後方指摘に検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、基礎疾患、初回診断、小児期手術日、小児期手術体重、小児期修復方法、小児期同時手術、小児期手術のアプローチ、成人時手術時診断、手術適応、術前圧格差(peak/mean)、術前圧格差(peak/mean)、成人期手術のアプローチ、成人期手術時年齢、手術時身長、手術時体重、人工心肺の使用の有無、送血部位、脱血部位、循環停止の有無、病変近位部、病変遠位部、術後評価日、術後圧格差(peak)、術後(mean)、術後検査方法、手術合併症。

特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

情報:カルテ番号、生年月日など個人を特定する情報は削除します。

試料:特に用いる予定はありません。

5. 研究費および利益相反

本研究は、心臓血管外科学講座講座研究費により実施されます。研究者は本研究に関する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さん・代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

今井茶紀子

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 番 1 号

心臓血管外科学講座医局 019-613-7111 (内線 6411)

E-mail アドレス: isakiko@iwate-med.ac.jp

研究責任者: 金一

岩手医科大学附属病院 心臓血管外科

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

TEL: 019-613-7111 (内線 6412)

E-mail: hkin@iwate-med.ac.jp

-----以上